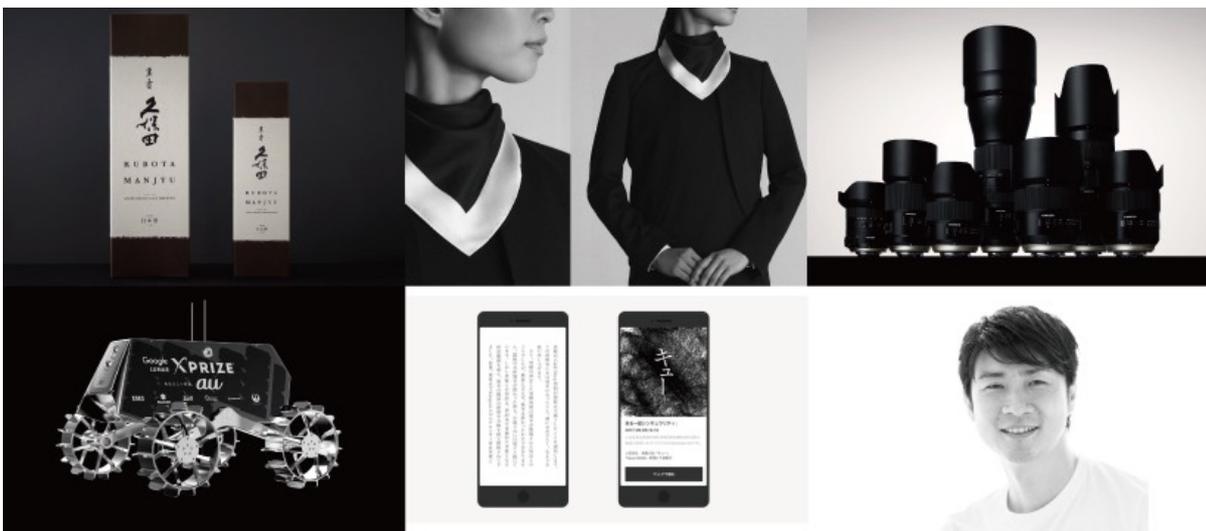


ワークショップ
イノベーション・スキルセット
～ BTC人材へのファーストステップ

DESIGN ACADEMYの2019年を締めくくるワークショップは、Takram代表、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート客員教授・名誉フェローの田川欣哉氏を講師に迎えて行われます。第4次産業革命の世界を人はどのように生き抜くか。2020年代にイノベーションを生み出す人物像、組織へのステップとは。数々のプロジェクトを成功に導いて来た田川氏が、ワークショップという形でその解を問う得がたい機会です。

以下は田川氏よりいただいているメッセージです。



2020年代を生きる企業、そしてビジネスパーソンやエンジニアに必要とされる、イノベーションを生むためのスキルやその人材像をまとめたものが、BTC型人材（ビジネス・テクノロジー・クリエイティビティ）という考え方です。

このワークショップでは、デザインを「課題解決のためのデザイン」と「スタイルやブランドをつくるデザイン」の2つに整理することで、ビジネスパーソンやエンジニアがどのようにデザインを理解し、身に付けていけばよいかということをつかりやすく解説し、また複数のトレーニングセッションを提供することで、BTC人材へのファーストステップとすることにチャレンジしてみようと思います。

このワークショップをきっかけに、デザインの力を身に付け、アップグレードされたビジネスパーソンやエンジニアたちが、BTC人材としてイノベーションに挑んでいくようになることを期待しています。

<日時・会場>

2019年 Day1: 12/4 (水) Day2: 12/12 (木)

Day1 09:30-18:30

Day2 09:30-18:00 + パーティ (19:30終了予定)

* ご応募は2日間とも参加出来る方に限らせていただきます。

会場:

THE CORE KITCHEN/SPACE (港区新橋4-1-1) 最寄り駅: 新橋、内幸町、他

<http://thecore-kitchenspace.com/>

<講師・ワークショップ設計>

田川欣哉 (Takram代表、デザインエンジニア)

<言語>

日本語

<想定される参加者>

イノベーション人材へのスキルアップを目指すビジネスパーソン、エンジニア、デザイナー。

<進行>

Day1

「第4次産業革命とデザインの系譜」の理解、n=1の観察手法、付箋トレーニング、
ディスカッション・Q&A

Day2

デザインフィクション、情報の構造化フレームワーク、発表、ディスカッション・Q&A

* Day1とDay2の間に宿題があります。



田川 欣哉

Takram パートナー, デザインエンジニア。

プロダクト・サービスからブランドまで、テクノロジーとデザインの幅広い分野に精通するデザインエンジニア。主なプロジェクトに、トヨタ自動車「e-Palette Concept」のプレゼンテーション設計、日本政府の地域経済分析システム「RESAS」のプロトタイピング、Sansan「Eight」の立ち上げ、メルカリのCXO補佐などがある。経済産業省・特許庁の「デザイン経営」宣言の作成にコアメンバーとして関わった。経済産業省産業構造審議会 知的財産分科会委員。グッドデザイン金賞、iF Design Award、ニューヨーク近代美術館パーマネントコレクション、未踏ソフトウェア創造事業スーパークリエイター認定など受賞多数。東京大学工学部卒業。英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修士課程修了。2015年から2018年までロイヤル・カレッジ・オブ・アート客員教授を務め、2018年に同校から名誉フェローを授与された。

著作「イノベーション・スキルセット～世界が求めるBTC型人材とその手引き」他。

<登録の流れ>

該当するお申し込みフォームより必要事項を入力の上、ご応募ください。
後日、事務局より参加可否のご連絡と、受講料お支払い手続きについてのご案内をいたします。お支払いはご希望によって企業・団体様宛ての請求書を発行することも可能です。（ご案内メールにて詳細をご説明します。）
受講料のお支払いを持って、登録完了となります。

<定員>25名

原則先着順でお受けいたします。参加者の多様性を確保するため、万が一組織や職業に偏りがある場合、参加ご希望をお受けできない場合があります。（ご登録時にすぐお知らせいたします。）ご理解をいただけますと幸いです。

<参加費>1名様 160,000円+消費税/2日間

お支払い方法：銀行振込（お申し込みいただいた方に詳細をご案内いたします。）

<消費税のお取り扱いについて>

9月30日までのお支払いの場合には8%、10月1日以降のお支払いの場合には10%の消費税を申し受けます。受講手続きの際に詳しくご案内いたします。

<ご応募>

<https://www.academy.designlab.ac/application-form-201906>

<特典>

以下のワークショップに参加された皆様には特典として、参加費の15%引きを適用いたします。

- ・ Design Thinking for Disruptive Innovation (2018年11月開催)
- ・ Design Futures:Speculative Design for Business (2019年1月～2月開催)
- ・ スペキュラティブデザイン – AIと感情の未来を考える (2019年4月開催)
- ・ Design Thinking Design Doing (2019年5月開催)
- ・ Customer Experience Innovation - Creating the Wow (2019年6月開催)

<早割の特典>

早めにご登録いただいた方には10%の割引を適用します。早割の適用は9月20日（金）までを予定しています。（お申し込み状況によっては予定より早く終了させていただきます。ご了承をお願いいたします。）

<参加条件>

デザイン関連の経験や学歴は不問です。デザイン、創造性、イノベーションの方法論を学ぶ意欲をお持ちであれば、どなたでもご参加いただけます。学生の方もご参加可能です。（年齢21歳以上の方に限らせていただきます。）

DESIGN ACADEMYについて

DESIGN ACADEMYは
未来を創造する人材を育成します。



Photo credit Gottingham

RCA x IIS Tokyo Design Labは、英国・ロンドンに位置する王立美術大学院大学ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（Royal College of Art: RCA）と東京大学生産技術研究所（Institute of Industrial Science: IIS）によって設立された組織です。デザインとエンジニアリングの融合によるイノベーション創出、デザイン・エンジニアリング教育、クリエイティブ・コミュニティの形成を実施しています。

DESIGN ACADEMYでは、RCAがもつデザイン・エンジニアリングの知見と、東京大学生産技術研究所（IIS）がもつ科学技術の知見に支えられた、「デザイン・イノベーション教育プログラム」を提供します。

DESIGN ACADEMYが提供するプログラムはデザイナーだけのものではありません。新規事業開発、研究開発、商品・サービス開発、経営戦略のみならず、行政、自治体の運営、教育など、創造性に関わる全ての職業、事業に関係する皆様に有効なプログラムです。大学生の参加も歓迎します。

RCAは世界最高峰のデザイン・アートの大学院大学です。RCAでは最先端のデザイン手法やイノベーションの方法論が日々磨き上げられています。DESIGN ACADEMYでは、RCAが開発している最先端のデザイン手法やイノベーションの方法論を体系的に学ぶことが出来ます。

IISは日本最大級の大学附置研究所です。そこでは国内外から1000人を超える研究者が集まり、基礎から応用まで、工学のほぼすべてをカバーする分野の最先端研究を行っています。

つまり、DESIGN ACADEMYが提供するデザイン教育にはエンジニアリングの確かな裏付けがありません。高度なエンジニアリングの裏付けは、技術革新だけでなく、広い分野での価値変革、価値創造に欠かせない要素です。

イノベーションやデザインをとりまく思想の動向は世界を舞台に年々大きく動いています。DESIGN ACADEMYはグローバルな視点から、複雑なトレンドのキュレーションを行い、注目すべき様々な手法や方法論についてプログラムを提供します。また、世界を視野にイノベーションに取り組む方法論を学ぶことが出来ます。



プログラム実績

■ Design Thinking for Disruptive Innovation

ロイヤル・カレッジ・オブ・アートが標榜するデザイン思考の本質

Workshop1) 2018年11月9日-10日

Workshop2) 2018年11月16日-17日

講師：Miles Pennington（東京大学）、Tim Corvin（RCA）、亀井潤（通訳）

ロイヤル・カレッジ・オブ・アートではクリエイティブディレクターやCEOとして将来グローバルブランドのリーダーとなる学生達がデザイン思考を学んでいます。標準的・線形のアプローチとは違い、デザイン思考の構造は創造的で、試行を繰り返すことにより迅速に解を得られることも特徴です。多様なビジネス領域や研究分野に有効であり、どのようなフィールドにもイノベーションの機会を見つけることが出来ます。

「ロイヤル・カレッジ・オブ・アートが標榜するデザイン思考の本質」と題した本ワークショップでは、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの持つ専門的知見や教育方法を用い、様々なオリジナルツールを駆使して、イノベーション創発のために必要なデザイン思考を学びました。



■ Design Futures: Speculative Design for Business

Workshop1) 2019年1月30日-31日

Workshop2) 2019年2月5日-6日

講師：Jack Mama(vHM)、Clive van Heerden(vHM)、亀井潤（通訳）

問いを創造するデザインとして、スペキュラティブデザインは近年日本でも注目を集めていますが、Design Futuresはビジネスへの応用を目的としたスペキュラティブデザインと位置付けられます。Design Futures独自のプロセスを用いて、世の中に散在する「かすかな兆し」を見つけ出し、スペキュラティブデザインの方法論によるシナリオを構築します。インサイトを探る様々な方法、それらをシナリオに応用する方法を学び、2日間の成果として、破壊的イノベーションへと導く道筋を学びます。今回のテーマは「住まう」こと。社会的要因、テクノロジーやシステムの変化などにより、住まうことや住まいの多くの側面に大きな変貌が見込まれ、そこには現在のスコープ外の機会領域が存在します。また、様々な業種に汎用性のあるテーマなのでこのテーマが選ばれました。



■ Sputniko! Special Workshop

スペキュラティブ・デザイン-AIと感情の未来を考える

2019年4月26日（金）

講師：Sputniko!、山崎はずむ（Empath）

前半はスプツニ子！が問題提起的デザインの手法であるスペキュラティブデザインの考え方をレクチャー。その後、音声感情解析AIベンチャー「Empath」CSO山崎はずむ氏が「AIと音声感情解析の現在」について講演しました。

今回与えられたテーマは、「最高にクリエイティブなディストピア」です。参加者はレクチャーから得たインスピレーションを元に、AIと音声感情解析がもたらす未来をスペキュラティブデザインの方法論でチームごとにデザインしました。



■ Design Thinking Design Doing

An introduction to design for people with no design experience

初めてデザインと出会う人の、デザイン思考入門

2019年5月25日（土）-26日（日）

講師：Yoon Bahk（UC Berkeley）、Gaetano Ling（IDEO）、Saki Maruyama（通訳・サブファシリテーション）

このワークショップはデザイン思考の入門編と位置づけられ、主にデザイン経験がない方々を対象に、新しいプロダクトや新しいサービスアイデアを生み出すための方法論を学んでいただく機会と設定しました。

講師のYoon Bahk(UC Berkeley) はビジュアルシンキングの専門家でもあり、マイクロソフトや英国政府など多くの企業・団体を指導しています。第4次産業革命と呼ばれる現代、目に見えないイノベーションやシステム、商品を理解したり、生み出したりするためには、ドローイングやビジュアルシンキングが、不可欠なスキルとなります。本編ではその必要性和実施方法が盛り込まれた内容となりました。

テンポの良いグルーヴィーなファシリテーションで、RCA時代から人気の高いYoon が、パートナーのGaetano Ling(IDEO Palo Alto)とともに東京にてワークショップを行う貴重な機会を提供することができました。



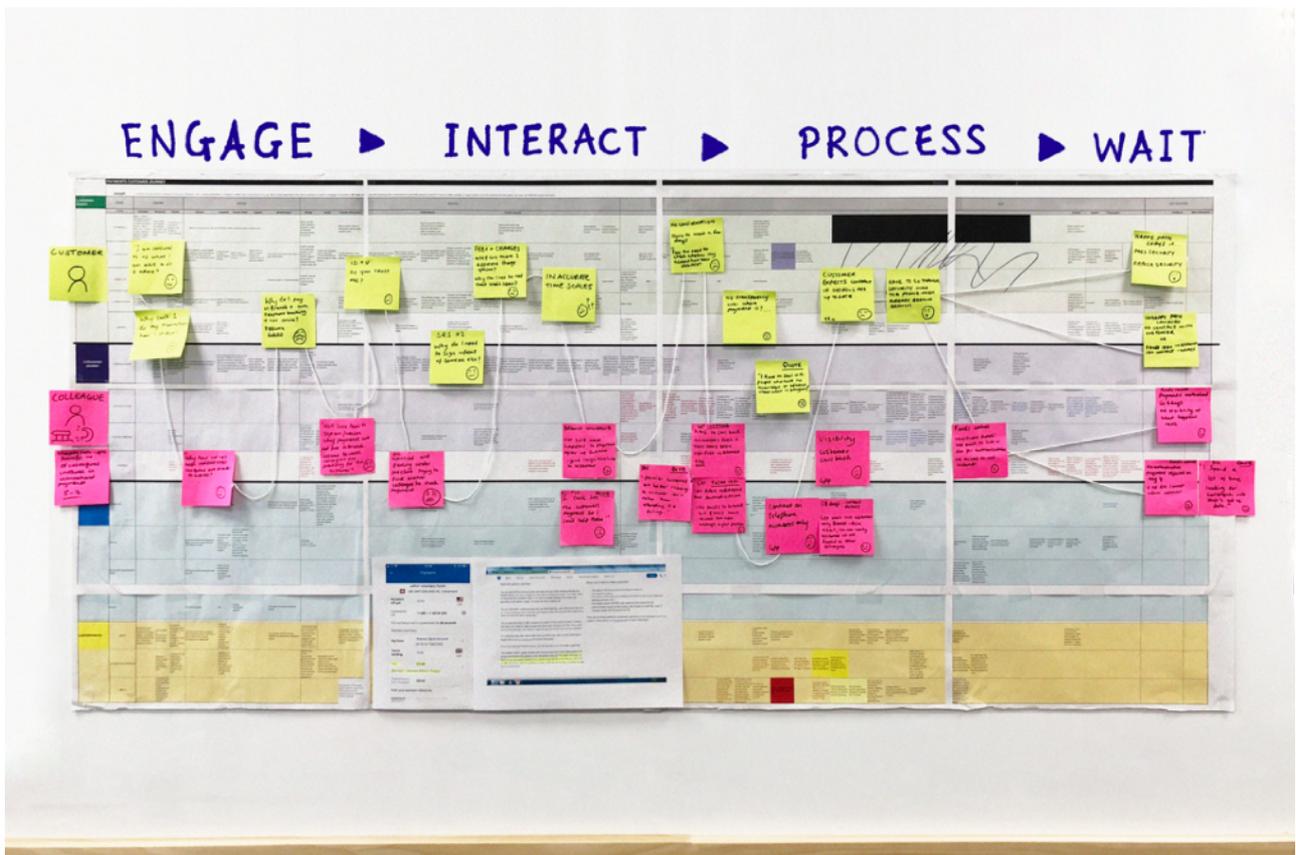
■ Customer Experience Innovation - Creating the Wow

(Wow!を生み出す - 顧客体験のイノベーション)

Workshop1) 2019年6月25日 (火) -26 (水)

Workshop2) 2019年6月28日 (金) -29 (土)

講師：Clive Grinyer (RCA)、Tim Corvin (RCA、DESIGN ACADEMY)、亀井潤 (通訳・サブファシリテーション)



■ **Design Academy Club**について

DESIGN ACADEMYのワークショップに参加された皆様にはいくつかの特典をご用意しています。Design Academy Clubメンバーとなり、Clubメンバーのみを対象としたイベント（ワークショップなど）に参加することが出来ます。また、メンバーには、公開ワークショップ参加の際、参加費の割引もあります。

Design
-
Academy
-
Club

参加者の声

これまでの参加企業（抜粋）：

日立製作所、ソニー、パナソニック、三菱電機、リクシル、TOTO、富士通、富士フイルム、リコー、オムロン、大塚ホールディングス、KDDI、電通、野村総合研究所（NRI）、日本総合研究所（JRI）、日立コンサルティング、PwCコンサルティング、インターブランド、構造計画研究所、Google、ADK、NHKなど。（順不同）（略称）

参加者の職種：

デザイン、クリエイティブディレクション、研究開発、商品・サービス開発、新規事業開発、経営戦略、経営企画、経営、マーケティング、営業、広告、コンサルティング、教育など。

Q なぜワークショップに応募されたのですか？

サービス開発のための、デザイン思考を学ぶため。世界的に有名なRCAのデザイン思考のメソッドについて、知りたかった。（通信）

デザインについて実際に体験をする機会が少なかったため、知識のみでなく体験を得ることを目的に参加しました。（メーカー）

「デザイン思考」を実践的に学び、自社における業務やサービスに生かしたいと思い参加を希望しました。（建築）

社内研修を担当しているのですが、デザインシンキングを自社内の研修に取り入れ、ゆくゆくはクライアントワークにも活かしていけたらと考えています。そのために、RCAの提唱するデザインシンキングを、体験を通して理解したいと思いました。（教育）

創造力開発と事業開発に関し、RCAではどのように進めているか知りたかったから。（IT）

プランニング力強化のため参加しました。（コンサルティング）

新規事業担当者として、考え方のメソッドについて触れたかったため。（建築）

未来提案の作り方について学びたかった。ある程度の目的は達成されたと思う（自社課題が多少見えた）。（メーカー）

目の前にある課題だけでなく、コンセプトをつくることに興味があり、これに関わることを学びたかった。（建設）

Q 感想をお聞かせください。

コンセプトを学ぶセッションと実際に手を動かすワークショップを一連で体験でき、全体の構成がとてもよく考えられていると感じました。（コンサルティング）

講師、通訳とも素晴らしいクオリティでした。チームメンバー割にも配慮が感じられ良かったと思います。（コンサルティング）

ワークショップはとても体系立てられており、実践と座学の組合せによりより理解が深まりましたし、自身と全く異なる分野、なおかつ普段よりデザイン思考を用いて製品や仕組み・システムのデザインをされている方々と話をすることが出来、自分たちにも生かせると感じました。とても満足しています。（建築）

バックグラウンドやベースの知識・職業が異なるチームだったので、新鮮なアイデアに多く出会え、またそれらの中からアイデアを選び、実際にプロトタイプまで作っていく、というのは非常に面白かったです。アイデアをただ生み出すだけでなく、試作、フィードバック、改善、をチームで進めていくプロセスが体験できたのは良かったです。実務の中での応用を考えたいです。（メーカー）

理論と実践を融合させていてそのバランスが良かった。（メーカー）

課題付与や時間設定などのファシリテーションが上手く適度な緊張感を持ちつつ楽しく参加することができました。（サービス）

先例を踏まえて新しいビジネスの視点（weak signalなど）を学べた点が良かったです。（メーカー）

コンセプトを考えるときに、自分の中で良い、悪いを決めるよりも相手がどのように受け止めるか、議論できる場を作れるかが重要だということをワークショップの中から感じる事が出来た。（メーカー）

実践者の生の声が聴ける点、簡易ながら演習で一通りを体験できる点、懇親会等を通じて多くのコネクションを構築できる点が良かった。（メーカー）

資料による説明→ワークの繰り返しという進め方。講義ばかりでも、ワークばかりでもなくバランス良かった。通訳も内容を深く理解した上でのものだったので適した言葉でわかりやすかった。（メーカー）

主要メンバー



Miles Pennington

東京大学生産技術研究所 教授（専門分野）デザイン先導イノベーション。
デザインアカデミーの共同ディレクター。前職は英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）にて、
Innovation Design Engineering（IDE）およびGlobal Innovation Design（GID）の学部長。

野城 智也 Tomonari Yashiro

東京大学生産技術研究所 教授。デザインアカデミー共同ディレクター。建設省建築研究所研究員、武蔵工大助教授、英国Reading大学客員研究員などを経て、2001年より現職。東京大学生産技術研究所所長（2009-12）、東京大学副学長（2013-15）を歴任。サステナブル建築に関する研究分野を開拓するとともに、近年ではIoTにかかわる研究開発、イノベーション・マネジメントに関する研究にも取り組んでいる。

Tim Corvin

英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）のプログラムInnovation Design Engineering（IDE）教育。同時に、コンサルタンシーInnovation Farmの代表として、デザイン、ブランディング、イノベーションのコンサルタントを務める。コンシューマプロダクトおよびブランディングの分野を20年以上に渡ってリードしている。

運営母体について

RCA x IIS Tokyo Design Lab

RCA x IIS Tokyo Design Labは、英国・ロンドンに位置する王立美術大学院大学ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（Royal College of Art: RCA）と東京大学生産技術研究所（Institute of Industrial Science: IIS）によって設立された組織です。デザインとエンジニアリングの融合によるイノベーション創出、デザイン・エンジニアリング教育、クリエイティブ・コミュニティの形成を実施しています。

東京大学生産技術研究所（IIS）

工学のほぼ全ての分野をカバーする東京大学の付置研究所です。

5つの研究部門と研究センター群から成り、110以上の研究室が活動しています。工学の諸問題の解決・学問と実践の橋渡し・人材育成を使命としています。古くはペンシル型ロケット（糸川英夫）や二酸化チタンの光触媒機能（本多健一、藤嶋昭）を生み出し、現在もオリジナリティ溢れる最先端技術を数多く生み出しています。

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）

イギリスのロンドンにある王立の美術大学。修士号と博士号を授与する美術系大学院大学としては世界で唯一の学校。2015年のQS世界大学ランキングではアート・デザイン分野で世界1位に選ばれています。多方面に著名なアーティストやデザイナーを排出し続けており、世界最古の美術大学でもあります。1980年代からデザインエンジニアリング教育を続けており、この分野の世界的教育リーダーでもあります。



DESIGN ACADEMY (デザインアカデミー)

www.academy.designlab.ac

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学生産技術研究所S棟 S-207

お問い合わせ academy@designlab.ac

担当 小沢

